

三菱昇降機(エレベーター・エスカレーター) リニューアル工事の専用研修棟「練」が完成

～2020年までに技術者70名の増員、現場代理人300名に研修～

「ビルを、まるごと、心地よくする。」三菱電機ビルテクノサービス株式会社(取締役社長：吉川正巳、本社荒川区)は、当社の研修施設「教育センター」(東京都小平市)内に建設しておりました三菱昇降機のリニューアル工事専用の研修棟「練(れん)」がこのほど竣工し、6月3日から本格運用を開始します。

今後、当社は年々増加傾向にある昇降機のリニューアル工事に対応するため、据付技術者向けの安全教育、現場代理人向けの認定研修など多彩な研修を行なっていきます。2020年度までにリニューアル工事の据付技術者70名の増員および現場代理人300名への技能・知識付与等の研修を目指します。



施設の概要

名称	モダンゼーション研修棟「練(れん)」	稼働日	2019年6月3日
主な設備	実習用エレベーター5台・エスカレーター2台、溶接研修ブース5台	構造/面積	鉄筋コンクリート造(地上4階) 1,202.87㎡(延床面積)
住所	東京都小平市花小金井 7-16-1(三菱電機ビルテクノサービス 教育センター内)	投資額	7億円

【主な特徴】

「練」は、施工技術の習得促進を目的とした“見える化”の工夫を随所に取り入れています。エレベーターの昇降路壁を“金網”に、エスカレーター側面のトラス外側板を“透明アクリル製”にすることで、受講者が複数の時でも多方向から実技訓練を目視で確認できます。さらに、実習状況をリアルタイムに確認できるネットワークカメラシステムや大型モニタを各所に配置しています。また、工事現場で頻繁に行われる揚重作業の実習ができるよう、エレベーター実習場内に上下貫通した開口部を設けています。

【建設の背景と狙い】

近年、昇降機のリニューアル工事の増加に伴い、据付技術者の増強並びに世代交代が進んでいる現場代理人の技能・知識向上が必要となっています。これまでは「教育センター」内の新設研修施設や保守研修施設を用いた「Off-JT」と工事現場での「OJT」による教育を行っていましたが、“専用の施設、専用の治具による教育”の必要性が課題となっていました。今回竣工した「練」を最大限活用することで、技術者の増強と据付品質を向上させるだけでなく、工事現場での安全性の向上も図っていきます。

【「練」の由来】

“繰り返し手をかけ質の良いものにする”の文字の意味の通り、より良い工事品質を創り上げていくとの思いを込め、「練」と名付けました。

【教育センター】

33,000㎡の敷地に、昇降機・空調冷凍設備をはじめとしたさまざまなビル設備の施工・保守・管理などに携わる技術者教育のために、旧型から新型まで100を超える実習用実機を備えています。年間を通して全国の新入社員から中堅・管理者に至るまで、一人ひとりの役割に応じたきめ細やかな研修を定期的に行うことで、多様性のある現場力を重視した教育を実施しています。

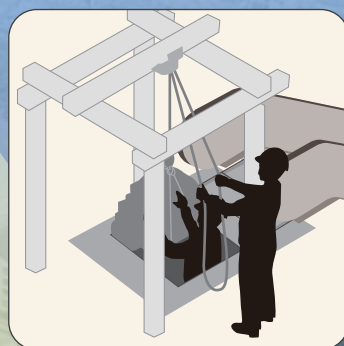
【報道関係者からの問合せ先】

三菱電機ビルテクノサービス株式会社 広報室：内田、宮本 Tel：03-5810-5286 Mail：a_meltec-kouhou@meltec.co.jp

モダンゼーション研修棟のご案内

専用研修施設で昇降機リニューアル施工スキルを高めます！

昇降機リニューアル工事は、稼働中の建物で行う設備更新工事です。そのため、施工にも安全にも特別な配慮が必要となります。モダンゼーション研修棟では、各種作業の見える化を実現した模擬環境での集中的な研修を行い、リニューアルに必要な専門的なスキルを効率的に習得することができます。また、労働災害の撲滅を目的とした安全教育、現場代理人向けの認定研修など多彩な研修を行います。



■ 専用設備・効率的カリキュラムによる集中した研修でリニューアル施工能力を向上

専用治具と実機による実際の現場環境に近い状態での研修。フレキシブルで幅広いカリキュラムによる作業教育の実施。

■ 研修カリキュラムの充実と専門講師による研修内容の充実

溶接技量向上研修、あと施工アンカー施工研修、リニューアル専用治具研修、レールブラケット強度計算プログラム研修などを実施。

■ 労働災害の撲滅とモダン工事品質の確保・維持

作業員に向けた安全教育と管理者の安全管理意識の向上を図り、認定制度の運用などからさらなる安全と工事品質を確保。

モダニゼーション研修棟のご案内

モダニゼーション研修棟の機能

高度かつ正確な技術の習得
リニューアル施工技術者研修と多能工化研修

安全な工法の習得

新工法や専用治具の
使用方法習得



安全意識の向上

現場代理人向けの安全
管理教育を強化

モダニゼーション研修棟の役割

昇降機リニューアル工事には、既存昇降機の解体撤去や多種にわたる従来機種への対応、稼働中の建物への対応が必要なことから、新設工事とは異なる工事スキルや安全意識が要求されます。

据付技術者はリニューアル対象となる機種ごとの特徴や、効率的かつ確実な作業手順の習得、安全も含めた作業品質のレベルアップを目指します。

現場代理人は関連法規や技術的な知識を身につけるとともに実機により据付作業を確認することで、リニューアル作業現場での安全意識を高め労働災害の撲滅を目標とします。

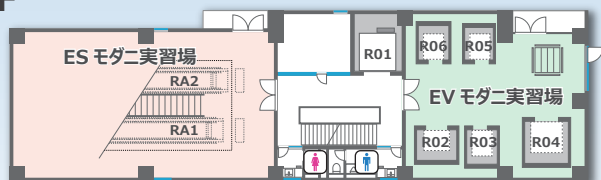
モダニゼーション研修棟の特徴

EV（エレベーター）モダニ実習場には5台の研修用エレベーターを設置しました。建築の堅穴区画を工夫することで昇降路の壁面を金網とし、多方向から据付技術者の動きを見ることができるようになっています。また、ES（エスカレーター）モダニ実習場に設置した2台のエスカレーターは、トラス内部が見えるようトラス外側板を透明アクリル製とし、複数の研修人員でも実機の作業内容の確認が可能です。

巻上機や制御盤などの搬入を想定した重量物の揚重実習が可能のように、EVモダニ実習場内に上下貫通した開口部を設けるとともに、建物外部にも外部揚重を想定したベランダを設けています。

フロア案内

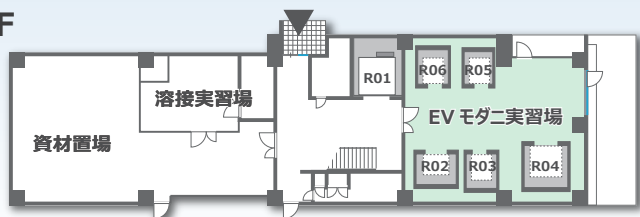
2F



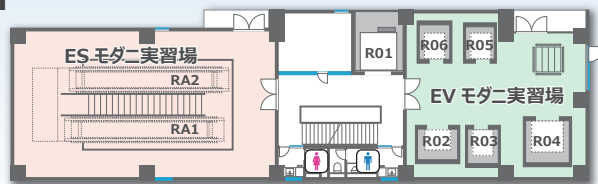
4F



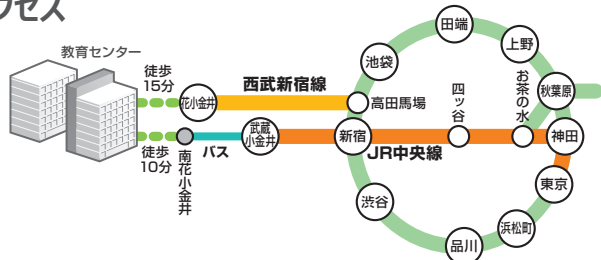
1F



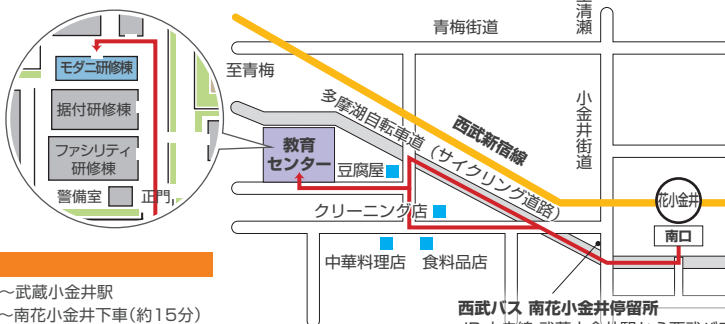
3F



アクセス



西武新宿線 花小金井駅からの場合



西武新宿線をご利用の場合

- JR山手線 高田馬場駅(乗換え)
- 西武新宿線 高田馬場駅～花小金井駅 (急行20分)
- 徒歩 花小金井駅～教育センター (約15分)

JR中央線をご利用の場合

- JR中央線 東京駅・新宿駅～武蔵小金井駅
- 西武バス 武蔵小金井駅～南花小金井下車(約15分)
(滝山団地行、清瀬行、東久留米行 乗車)
- 徒歩 南花小金井停留所～教育センター(約10分)

西武バス 南花小金井停留所

JR 中央線 武蔵小金井駅から西武バスをご利用の方はこちらでお降りください。

ビルを、まるごと、心地よくする。

三菱電機ビルテクノサービス株式会社

<https://www.meltec.co.jp>

BMXXX.0000.DP